

## 長崎県基幹種雄牛 「勝乃幸（かつのさち）」の枝肉成績

「勝乃幸（勝乃勝 - 金幸 - 神高福）」は平戸市大島村の生まれで、平成 28 年度に県基幹種雄牛に認定されました。現場後代検定では、**驚異の BMS 10.3(当時日本一)**を記録し、現在でも全国トップクラスの成績となっています。

平成 31 年度に入り現場で肥育された「勝乃幸」産子が出荷され始め、その枝肉成績がまともりましたのでお知らせします。

「勝乃幸」産子の平均枝肉成績は下記のとおりです。

**BMS が平均 9.3、上物率（4、5 等級率）が 98.3%**というモンスター級の成績を収めており、勝乃幸が特に肉質において高い能力を持っていることを示しています。

また、ロース芯やバラが大きく、歩留基準値が **75.7** と長崎県平均と比べて高い成績となっています。

### 【勝乃幸産子（去勢）の枝肉成績】

	頭数	枝重	ロース芯	バラ厚	皮下脂肪厚	歩留	BMS	上物率
勝乃幸去勢 <sup>1</sup>	120	498.6	68.8	8.8	2.5	<b>75.7</b>	<b>9.3</b>	<b>98.3%</b>
長崎県平均 <sup>2</sup>	7,561	504.0	62.1	8.3	2.7	74.3	7.0	80.7%

1 長崎県肉用牛改良センター調べ（R1.11.26時点）

2 日本枝肉各付協会HPより抜粋（H30年度長崎県去勢牛平均枝肉成績）

「勝乃幸」本牛は体幅、体深に富んでおり、地域の共進会では「勝乃幸」産子がグランドチャンピオン賞を受賞しています。今後、本県の繁殖雌牛の能力アップにつながることも期待されています。



肉用牛改良センターHP



「勝乃幸」号